

■阪神高速グループの求める技術 重点項目

【タイトル】:点検不可視箇所の状態を把握できる技術
【背景・課題】:点検不可視箇所の状態が把握できない課題に対応するため、付属物等の状態(健全性、異常等)を非破壊等により把握する技術の開発を求めるもの。例えば、耐火パネルは、その取り付け状況確認(耐火パネル裏側の取り付けボルトのゆるみ等の確認)が現時点において不可の箇所があり、将来的に落下等のリスクがある。また、中央排水工が中央分離帯位置のコンクリート舗装下に埋設されている箇所では、漏水等の状況が確認できていない。
【ゴール・目標】:点検不可視箇所を減らす
【実現イメージ】: 都市高速道路を建設・管理する総合的な技術 将来にわたる使用のための管理・更新手法の実現
【取組み】: IoT、3次元モデル、ロボット等の新技術を活用して維持管理を高度化・効率化
【対象設備－対象構造物】: 点検 - 点検
【業務分野】: 維持管理

(2025年7月時点)